

ムダな大型開発ただし、国保料引き下げ、子どもの医療費無料化、教室のエアコン設置など…切実な市民の要求・要望にこたえて

# 暮らしを守る施策実現へ全力で!



## 市民の願いを前へ、二つの条例提案

日本共産党大阪市区議員団は9月17日本会議で高すぎる国民健康保険料の軽減、子ども医療費助成拡充の条例提案をしました。

高すぎる国民健康保険料、今年も軽減提案



国保料の軽減求める条例改正提案をおこなう北山良三議員

所得250万円以下の母子二世帯でも国保料は32万4191円。お母さんの2ヶ月分の給与収入が国保料に消えています。これでは、高

すぎて、払いたくても払えません。日本共産党市会議員団は、9月17日の開会本会議で「障害者・未成年・寡婦(寡夫)」の新たな減免制度を設ける条例提案をおこないました。

医療費の助成拡充、中学校卒業までに



子ども医療費助成拡充の条例提案するあだち義孝議員

「格差と貧困」の広がり医療を受けられない子どもが増えています。大阪市でも小学校一年生で受診抑制、受診中断があるとされています。

日本共産党市会議員団は、「子どもの医療費等助成制度」を入院・通院とも中学校卒業までに拡充する条例提案をしました。

市民の願いに背をむける自民、公明、民主、維新

——二つの提案否決

長引く不況のなか、市民のくらしは大変です。そんな時に、少しでも市民のくらしに役立つ今回の二つの提案は、しごく当然です。

ところが、自民、公明、民主、維新が、否決をしたのです。市民の願いに背を向けるものと言わなくてはなりません。日本共産党市会議員団は、引きつづき全力投球でがんばります。

がんばりました  
無保険の子どもにも  
保険証交付を

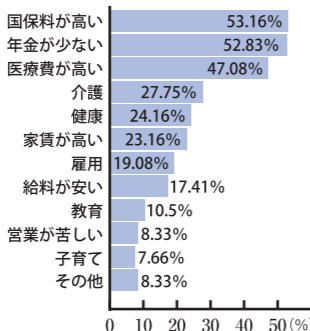
党市議員団は、繰り返し「子どもから国保証をとりあげるな」とただしてきました。その結果、08年11月に「短期国保証」が交付されることになり、その後、政府も交付義務化。すべての子どもにも国民健康保険証が届くようになりました。



## ずっと重い国保料、高すぎる医療費が暮らしを圧迫

「市民アンケート」に1500人をこえる回答が寄せられました。(7月末現在)

あなたの暮らしの心配事や不満は何ですか

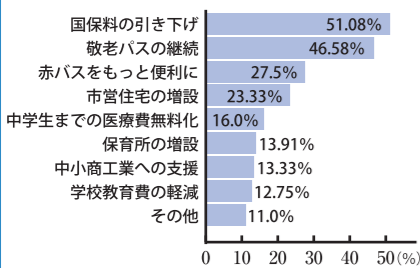


「大阪市にこうしてほしい」の設問では、「国保料引き下げ」が51.1%。「敬老パス継続」46.6%。「赤バスをもっと便利に」27.5%になっています。日本共産党大阪市区議員団は要望を議会に届け、実現に全力あげてがんばります。

ご協力に感謝します

「あなたの暮らしの心配事や不満は何ですか」の設問に、「国保料が高い」53.2%。「年金が少ない」52.8%。「医療費が高い」47.1%となっています。

大阪市に「こうしてほしい」と思うこと



- ★敬老パスは本当に助かっています。赤バスも同じです。(西成区 76歳・男)
- ★医療費が高いので病院に行けない。(西淀川区 62歳・女)

自由記入欄より

9月、10月  
公営・準公営決算議会

## 15名の日本共産党大阪市区議員団

## 願い実現へ全力投球です

- |               |              |               |               |                |                 |               |                |                 |               |                |                |                 |                |                |
|---------------|--------------|---------------|---------------|----------------|-----------------|---------------|----------------|-----------------|---------------|----------------|----------------|-----------------|----------------|----------------|
|               |              |               |               |                |                 |               |                |                 |               |                |                |                 |                |                |
| 下田敏人<br>(生野区) | 矢達幸<br>(大正区) | せと一正<br>(此花区) | わたし考一<br>(旭区) | 北山良三<br>(西淀川区) | 石川かんじ<br>(東淀川区) | はせ正子<br>(鶴見区) | いなもり豊<br>(平野区) | 江川しげる<br>(東住吉区) | 山中智子<br>(城東区) | 上野とき子<br>(都島区) | てらど月美<br>(淀川区) | あだち義孝<br>(住之江区) | 尾上やすお<br>(西成区) | 井上ひろし<br>(住吉区) |

大阪市会報告

2010年10月号

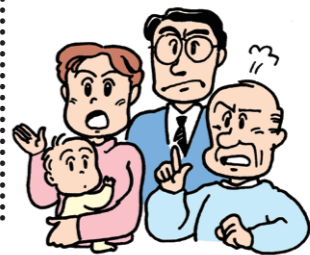
日本共産党大阪市区議員団

大阪市北区中之島1-3-20大阪市区役所内 電話6208-8640 FAX6202-3784

ホームページ http://www.jcp-osakasikai.jp E-mail sigidan@jcp-osakasikai.jp

# 市民の税金を大型開発へ投入するための 大阪市解体論

地域政党「大阪維新の会」は、「大阪には大阪府知事と大阪市長の二人の指揮官はいらない」「財布は一つでいい」などと言って大阪府と大阪市を解体再編し、東京都のような「大阪都」「ワン大阪」にすると主張しています。



## 「企業栄えて民滅ぶ」古い成長戦略 WTCなど湾岸開発の二の舞

「橋下・大阪維新の会」の「ワン大阪」構想は、大企業を呼び込み、集客力を強めるために「カジノ」「法人税ゼロ」などの経済特区を打ち出し、関西財界が要求する不要不急の淀川左岸線（高速道路）延伸、関西空港、リニアモーターカー建設など、進めようというものです。

## 一人の指揮官が独り占め 大阪市の財源や資産、権限を

そのために、「橋下・大阪維新の会」は、大阪市の解体・再編をすすめ地下鉄の売却など、市民の財産を独り占めにし、財源を取り上げて「開発」に注ぎ込もうとしているのです。

## 市税収入4割減の特別区 暮らし・福祉は破壊されます

「大阪都」構想では、市内を8〜9の特別区に再編・分割します。

しかし、特別区の税収入は4割も激減します。現行の大阪市税収入は6708億円（08年度決算）、これが大阪市を解体し特別区になると、4000億円程度に激減。2700億円も「大阪都」に吸い上げられます。国からの交付税も入らず、暮らしと福祉は守れません。

## 暮らし・営業を応援してこそ、 元氣な大阪の道

経済活性化には、医療・福祉・教育・中小企業への重点的な支援で、冷え込んだ家計消費を拡大することが必要です。そのためにも「維新の会」の進めるムダな大型開発ではなく雇用の確保につながる身近な公共事業で仕事をふやすことです。

### 橋下知事発言

「僕は、寝ても覚めても港湾、空港、高速道路、鉄道…考えて」「（淀川左岸線・高速道路延伸は）一人の指揮官になればすぐにやりまっす。3000億円かかってもやりまっす。地下鉄を売却してでも」

### 地下鉄

売却されれば

バス路線廃止・縮小  
敬老パスも赤バスも廃止に



大阪市営地下鉄は年間200億円余の利益をあげる優良公営事業です。橋下知事は、淀川左岸線（高速道路）延伸のための財源を地下鉄売却によって生みだすと言っています。

地下鉄が売却されれば、地下鉄事業からの市バスへの補助金はなくなり、バス路線廃止や縮小などに。当然、敬老パスも赤バスも廃止されるでしょう。売却は許せません。

## 9月「高齢者月間」にあたって申し入れ

# 「高齢者の施策拡充」を平松市長に



「申し入れ」をする党議員団（右側）

日本共産党市会議員団は、すべての高齢者が大切にされ、生きがいをもって暮らせるよう、平松市長に「高齢者福祉施策に関する」申し入れをおこないました。党市議員団は、医療・年金・介護・税制などの改悪で高齢者の暮らしが、かつてなく深刻な事態になっており、猛暑の中、節約でクーラーも動かさず熱中症にかかる高齢者が続出していると指摘。高齢者の暮らし、命と健康、福祉を守る温かい施策を拡充するよう、「敬老パスの無料存続」「クーラー設置補助」など二九項目にわたり要望しました。



文教経済委員会で質疑する  
山中智子議員

日本共産党議員団は、西区のマンションで起こった痛ましい二人の幼児の虐待死事件を取り上げ、虐待防止対策の強化を平松市長に求めました。

虐待の要因として「経済的貧困」「虐待者の心身の状態」「ひとり親家庭」が上位を占めていることから、徹底した子育て支援策こそ重要な施策であるとし、妊婦検診の公費負担や子ども医療費助成制度の拡充、妊娠した人が相談できる窓口の創設、乳幼児健診未受診の家庭とのコンタクトなど、支援を必要としている家庭を見逃さない積極的な対応を要望してきました。

### さらなる対策の強化を

今回の事件をきっかけとして若干の体制強化が図られました。しかし、児童虐待防止法制定から10年経った今、あらためて現状を見直すことの重要性、児童福祉司の抜本的増員など、将来を見すえた対策強化が必要です。さらなる虐待防止対策構築へがんばります。

## 一歩でも前進へ

日本共産党議員団は、9月17日に開かれた本会議で社会問題になっている子どもの虐待に関しての体制強化などを求める意見書や猛暑日が続く中で子ども教育環境整備で小中学校の教室にクーラーの設置などを検討するよう大阪府に要望する決議を提案しました。また、中学校給食の完全実施を求める決議案は、秋の議会での採択をめざします。

### 採択された意見書、決議

- 子宮頸がんの予防措置実施の推進を求める意見書
- 女性特有のがん検診推進事業等の継続及び更なる充実と強化に関する意見書
- 児童虐待防止等にかかる施策の充実と強化に関する意見書
- 小中学校における暑さ対策に関する決議

## 児童虐待防止対策の強化を

# 子育て支援強め、 貧困と孤立をなくす